

＜教育長だより 72号 枇差岳朝日に映えて 令和7年12月5日＞



学び続ける

教育長 津野庄一郎

本日「関川る～む」（大島）で、令和7年度の令和関谷学園（私立の通信制高校）の入学式が行われ、来賓として櫻井関川中学校長、高橋関川村社会福祉協議会長と出席しました。代表の近美千代さんは「昭和の関谷学園の精神を引き継ぎ、一人一人に寄り添い、大切にする教育を進めたい」と話されました。入学した生徒は「様々な体験や人との出会いを通して、自分のペースでしっかりと学んでいきたい」と抱負を述べ、会場は温かい拍手に包まれました。

多様なニーズのある生徒を受け止め、関川村の豊かな自然を生かした体験や人々との出会いの中で、じっくりと学びを深められることは、人生を歩んでいく上で有意義なことであると受け止めています。また、自分を律しながら学ぶ厳しさも求められることから、困難を乗り越えるしなやかな心も育まれることでしょう。かけがえのない生徒の前途に幸多かれと心からエールを送ります。

村内外から気のある生徒が集い、関係人口が増えて人々との交流が活発になることは、人口減少が進む関川村を元気づけることにつながると思います。

＜【写真】早春の恵差岳＞